

会津若松市史正誤表

頁	行	誤	正
---	---	---	---

会津若松市史 1 歴史編 1 『あいづのあけぼの』

頁	行	誤	正
50	中段大型古墳図版番号	24	25
50	中段大型古墳図版番号	25	26
50	中段大型古墳図版番号	26	27
50	中段大型古墳図版番号	27	28
68	上段図版	『丙午随筆』頁壹より	『丙午随筆百壹』より
70	下段10・15	宇佐見定憲	宇佐美定憲
71	上段写真・二段写真・三段9	宇佐見定憲	宇佐美定憲
71	三段30・31・33下段1・12・13・16・22	宇佐見	宇佐美

会津若松市史 2 歴史編 2 『会津、古代そして中世』

頁	行	誤	正
29	左上 図・写真キャプション	門田条里遺跡出土木簡（～	門田条里制跡出土木簡（～
29	左下 写真キャプション	門田条里遺跡木簡～	門田条里制跡木簡～
33	下段 後ろから10行目 ルビ	おおきさき	おおきさい
34	下段12～13行目	蚕養国神社神社	蚕養国神社_____
35	下段 8 行目	郡山遺跡は、字神明台といわれ、	郡山遺跡の中央部は字神明台という地名で、
35	下段 後ろから 4 行目	古代の布目瓦、舟形二面碇が出土した～	古代の布目瓦_____が出土した～
36	中段 右 写真キャプション	本宮遺跡出土舟形二面碇	金屋遺跡出土舟形二面碇
38	下段 8 行目 ルビ	ふとむぎ	おおむぎ
39	分布図内 右下	村北百竈遺跡	村北瓦竈跡
40	上段 後ろから 2 行目	沼の西には	沼の東には
40	中段 1 行目	宮腰貝塚	宮ノ腰遺跡
41	上段 左 写真キャプション	「雷文縁複弁四弁蓮華文軒丸瓦」	「雷文縁複弁四葉蓮華文軒丸瓦」
41	下段 後ろから 6 行目	「雷文縁複弁四弁蓮華文軒丸瓦」	「雷文縁複弁四葉蓮華文軒丸瓦」
41	下段 後ろから 6 行目 ルビ	らいもんえんふくべんしべんれんげもんのきまるがわら	らいもんえんふくべんしようにんげもんのきまるがわら
42	中段 4 行目	河東町の南原遺跡と郡山遺跡から平瓦が一点ずつあるが、	河東町の南原遺跡から平瓦が一点、郡山遺跡から平瓦が七点、丸瓦が二点出土したが、
45	上段 最後の行 ルビ	あかいやちしょうやしよくぶつぐんらく	あかいやちしょうやしよくぶつぐんらく

会津若松市史正誤表

頁	行	誤	正
47	上段12行目	上薬に試用した	上薬に使用した
80	下段13行目	_____「佐原三浦介	鈴木かほる「佐原三浦介

会津若松市史 8 歴史編 8 『会津近代の始まり』

頁	行	誤	正
10	下段16	これによって、旧藩士たちに書面をもって訓戒し	下段23行の前へ移動
23	下段19	「三浦信六」が2回表記	「三浦信六」を1回表記
24	中段3	大町四つ角	大町四ツ角
25	下段22	七月十五日までにまとめるように。との	まとめるように、との
78	1869 明治2年 関連の事項	6.15 若松県を設置	6.15 若松県庁を設置
78	1869 明治2年 関連の事項	8.27 四条隆平知事に任命	8.25 四条隆平知事に任命
79	1885 明治18年 一般の事項	?	この年
79	1893 明治26年 関連の事項	12.3 松平容保没	12.5 松平容保没
80	1899 明治32年 一般の事項	?	この年

会津若松市史 9 歴史編 9 『会津、大正から戦中へ』

頁	行	誤	正
31	中段写真左下	猪苗代第三発電所	猪苗代第二発電所

会津若松市史10 歴史編10 『会津、戦後から明日へ』

頁	行	誤	正
目次	中段写真	昭和49年09月10日	昭和42年09月10日
18	上段写真左	平成18年	平成17年
18	下段4	十八	十七
所蔵者一覧	3頁	会津漆器工業団地協同組合	会津漆器工場団地協同組合

会津若松市史12 自然編 2 『会津の生きもの』

頁	行	誤	正
目次	上段	阿賀川流域に住む魚たち	阿賀川流域に棲む魚たち

会津若松市史13 自然編 3 『会津の大地』

頁	行	誤	正
34	写真2-39	会津風雅堂建築時	会津若松市立小金井小学校建築時

会津若松市史18 文化編 5 『会津の人物』

頁	行	誤	正
24	上段6	自列亭酩酊	自列亭、酩酊
30	下段4	冥迦金	冥加金

会津若松市史正誤表

頁	行	誤	正
30	下段11	宗旧	宗久
31	中段13	民生局	民政局
31	下段21	女性として最初である。	削除
36	下段9	自らが記しており	『会津戊辰戦史』にあり
38	下段30	長男	次男
41	下段7	急據	急遽
45	上段7	パチュラーオブフィロソフィー	パチュラーオブフィロソフィー
45	下段28	私立武蔵学校長	私立武蔵高等学校長
52	タイトル	陸軍大臣	陸軍大将
53	小見出し	陸軍大臣	陸軍大将
61	上段13・15	明治九年(一九三四)・同十一年(一九三六)	明治九年(一八七六)・同十一年(一八七八)
61	中段2・6	明治十二年(一九三七)・同十四年(一九三九)	明治十二年(一八七九)・同十四年(一八八一)
66	中段15	大正六年(一九一七)六月十日には 靈山寺	大正七年(一九一八)六月一日には 収容所
67	下段13	現在の五千万円位に当たる。	当時の白米10キロ売値に換算すると、 現在の五億五八四〇万円位に 当たる。
77	中段9	萩原朔太郎	萩原太郎次郎
77	中段14	外務次官	外務事務官

会津若松市史22 民俗編3『職人の世界』

頁	行	誤	正
29	下段9	上の句、下の句がそれぞれに記され、 下の句を読み、上の句のカルタを取り合う という、普通とは反対の遊び方をする。	下の句を読み、下の句のカルタを取り合う 。

会津若松市史24 民俗編4『会津の昔話と伝説』

頁	行	誤	正
2	下段2	佐藤チヅ	佐野チヅ
38	下段30	千円冊	千円札

会津若松市史25 民俗編5『人の一生と暮らし』

頁	行	誤	正
37	上段写真	カラムシ刈り	麻の刈り取り